

地球システム科学とそれに関連する技術は人類繁栄の基になる資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全などの地球が関係するすべての分野において必要不可欠なものであり、その推進は各分野から強く要請されている。

そうした要請に積極的に答え、人類の持続的発展に寄与するためにはこれらの科学技術の更なる研究開発とその有効利用を速やかに推進する必要がある。

そこで、当研究所は公益的な研究事業および研究成果の実用化と普及を推進し、関連科学技術の発展に寄与してきた。平成 21 年度に重点的に実施する事業は次のとおりである。

- ◎ 地球システム科学・工学に関する基礎的・応用的研究の推進。
- ◎ 地球システム科学・工学に関する諸問題を解決するための調査と検討評価、及び指導と助言。
- ◎ 地球システム科学・工学に関わり新たに改良・開発された新技術の実用化。
- ◎ 研究会・講習会などの開催。

まず、当研究所の運営に関しては、平成 20 年 12 月 1 日に施行された公益法人制度改革関連三法で規定された新制度の公益法人へ移行する際の機関設計や寄附行為（定款）などの検討を行い、当研究所の将来像を明確にさせると共に、移行申請に必要な書類の作成準備を進め、定例理事会を 2 回、定例評議員会を 1 回開催して当研究所の運営に関して検討を深める。

事業に関しては、既存の各部門研究会の研究・調査活動を更に推進させると共に、新しい部門研究会の設置についても検討し、部門研究会活動の活性化によって、調査・研究受託等による収入の増加を促進する。更に、今までの研究会・講習会等の開催実績を踏まえ、要望が多くその成果が期待できる課題に重点を置いて、研究会、講演会、講習会を開催するとともに、国際ワークショップや国際セミナー等の共催及び運営なども行なう。

なお、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/geosys/>) を更に充実させ、当研究所の活動状況及び成果の周知及び普及を進める。

平成 21 年度の事業収入、会費収入の計画は以下のとおりであり、それに伴う収支予算は別紙「平成 21 年度収支予算書」のとおりである。

| | | |
|---------------|------------|---|
| ① 研究・調査受託収入： | 20,000,000 | 円 |
| ② 講習会・研究会等収入： | 300,000 | 円 |
| ③ 会費収入： | 1,500,000 | 円 |
| (合 計) | 21,800,000 | 円 |

以上